



ベローズシェッド 取扱説明書

型番：SH-RS622

この取扱い説明書は大切に保存してください。

この度はBELLOWS SHED（ベローズシェッド）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご面倒ですが、組立・ご使用前に必ず「取扱い・組立て説明書」をよくお読みください。
思わぬ事故やケガの原因となったり、損傷の原因となる場合がございます。

組立・使用上の注意及び禁止事項

※組立ての前に「⊘ 危険・⚠ 注意」を必ずお読み下さい。



この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

《組立時》

- 雪がまとまって落ちる恐れのある場所、雪が吹溜りになる場所、風当たりが特に強い場所には危険ですので、設営しないでください。屋上などにも設置できません。
- ペローズシェッド内や周りでの火気使用は、火災の原因、一酸化炭素中毒等、生命をおびやかす恐れがありますので、絶対におやめください。また火災等の原因となりますので、火気から離れたところに設営してください。

《使用時》

- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象が予想される場合は、災害に備えてシート部を外したり、撤収を行ってください。
- 雪の多い地方で、雪に埋もれた場合等は押し潰される危険性がありますので、絶対にペローズシェッド内に入らないで除雪を行ってから安全を確認の上お入りください。本製品は積雪に対応していません。
- 本製品は防火仕様ではありません。内部での火気の使用はもちろん、周りでの火気使用は厳禁です。
- ペローズシェッド内で電気製品を利用する際、野外用に設計された電気製品を使用してください。（ハンダなどの電熱製品は使用不可）また漏電等を起こさないよう注意してください。



この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的損害、又は物的損害の発生が想定される内容を表しています。

《組立時》

- 製品が到着しましたら、部品が揃っているか確認してください。
- 設営作業は必ず2人以上で行ってください。
- 設営の際は安全の為、安全帽、グローブを着用し、作業に適した衣類で作業をしてください。
- パイプを接続する際は完全に差し込んでください。その際、指を挟まないように注意してください。
- 組立作業中は周囲に十分に注意してください。近くに人や物がないことを確認してください。
- 小さいお子様に設営作業をさせないでください。
- 風が強い時は設営を行わないでください。思わぬ事故や本体破損の原因となります。
- 設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。コンクリート面推奨。また、風の影響を受けにくい場所に設置してください。
- 本体はアンカーを必ず設置してください。折りたたみ時、近くに頑丈な固定物がある場合はロープなどで固定してください。
- 本取扱い説明書を良くお読みになってから設営をしてください。
- 脚立を使用する際は落下しない様注意してください。

《使用時》

- ペローズシェッドは伸縮可能な簡易倉庫、ガレージです。それ以外の目的では使用しないでください。
- パイプにぶら下がらないでください。また危険ですので、ペローズシェッドの上には絶対に上らないでください。
- 製品が破損した場合は速やかに使用を中止してください。
- ペローズシェッド使用時の事故、損害に関しての補償はいたしかねます。ご自身の責任の元、使用してください。



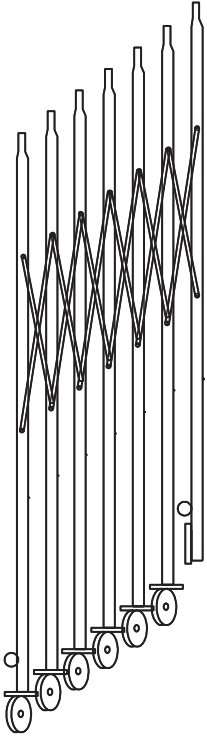
**指挟み
注意**



組立2名以上

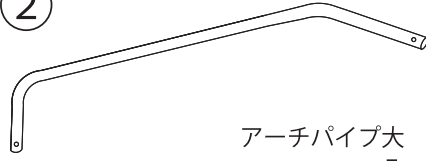
パーツリスト

①



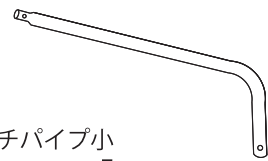
ジャバラパイプ
x2

②



アーチパイプ大
x7

③



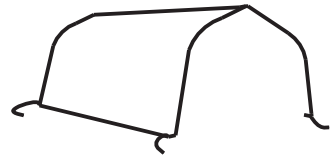
アーチパイプ小
x7

④



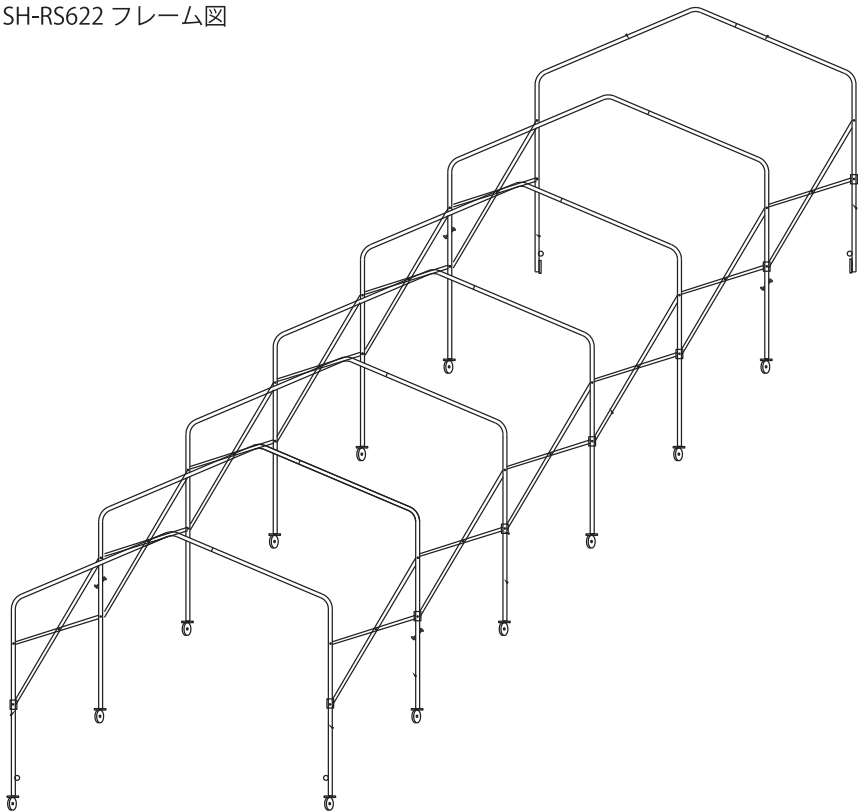
ピン x2
※①に付属しています。

⑤



メインシート
x1

SH-RS622 フレーム図



基礎・設置面の整備とパーツ確認

■固定箇所の用意

コンクリート基礎の設置 ※コンクリート面で使用する場合は必要ありません。
300mm 四方以上の基礎を作成してください。推奨基礎深さ 300mm
左右の基礎の中心が 2600mm になるように作成します。

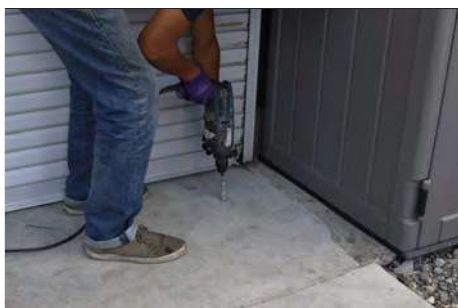


コンクリート基礎が十分に固まった事を確認してから固定穴位置を穿孔してください。

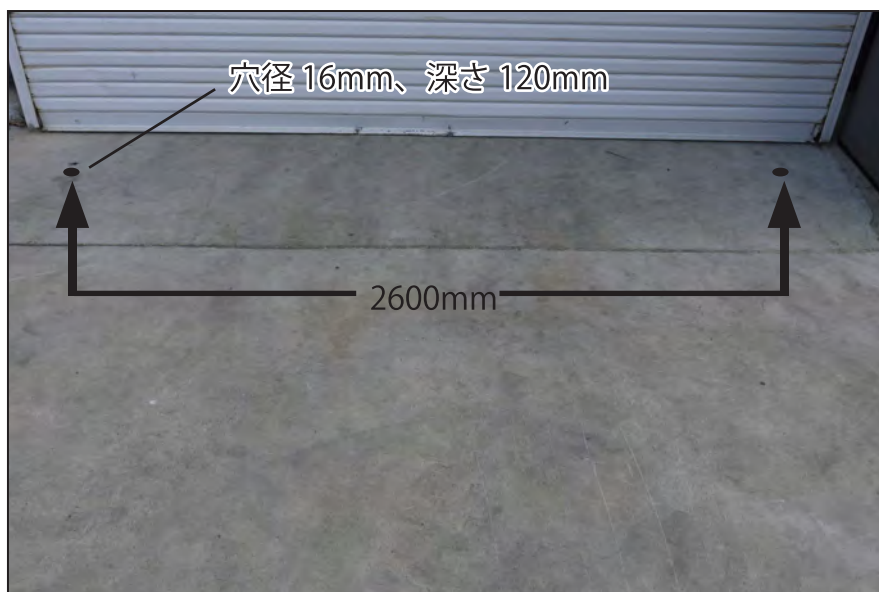
■スライドバー用の穴穿孔

2600mm の位置で 16mm のコンクリートドリルで深さ 120mm 穿孔します。【図1】【図2】

【図1】



【図2】



■パーツの確認

パーツリストを参考にパーツを確認してください。

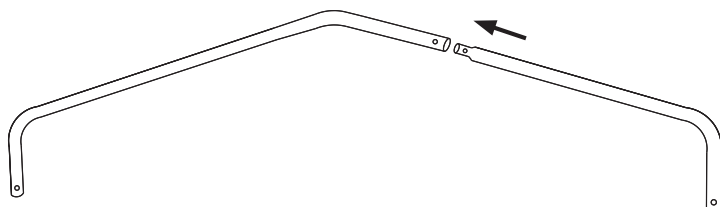
確認時、パーツ不良及び不足が発生した場合は設置前に必ず購入店にご連絡ください。

組立方法

■パイプフレームの組立

アーチパイプ太②とアーチパイプ小③を組み立てます。【図1】ばねピンロックがしっかり穴に入ったことを確認してください。他の6組も同様に接続します。【図2】

【図1】

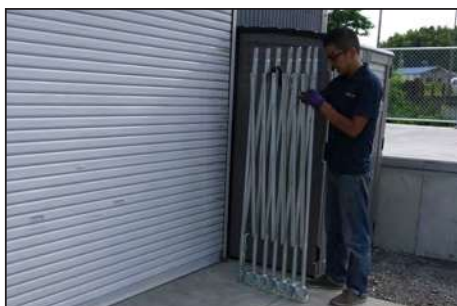


【図2】

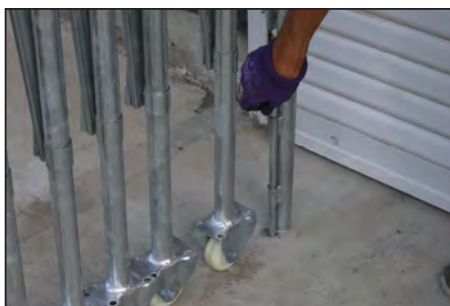


ジャバラパイプを立て、【図3】固定パイプ後方に付属するスライドバーをコンクリート基礎穴に挿入します。【図4】

【図3】



【図4】



組み立てたアーチパイプをジャバラパイプ①に接続します。【図5】ばねピンロックがしっかり穴に入ったことを確認してください。【図6】他の6本も同様に接続します。入口側パイプはバネロックの向きが異なります。

【図5】



【図6】



組立2名以上



指挟み
注意

ジャバラパイプの接続部分で手をはさまないように注意してください。
必ず2名以上で設置してください。

■ テントシートの設置

ジャバラを広げる前に入口側より2本目のジャバラパイプに付属するピンを抜いてください。【図1】パイプを広げます。【図2】一番広がる位置まで広げたら再びピンを挿入して本体が縮まないようにします【図3】※稼動部に手をはさまないように注意してください。



**指挟み
注意**

【図1】



【図2】



【図3】



出入口方向を確認し、片側よりテントシートを被せます。【図4】前後左右が均等になるように調整してください。【図5】【図6】上部は脚立などを利用してシートを移動します。※テントカバーは重量がありますので、テント設置作業は可能な限り組立人数を増やしてください。※無理にテントシートを引っ張ると引っかかり破損する恐れがありますので、内部で押しながら少しずつ移動してください。



組立2名以上

【図4】



【図5】



【図6】



出入口に付属している紐を下方方向に引っ張り、出入口のシートを絞ります。【図7】引き出した紐は出入口パイプの丸かんに縛り付けてください。

引き出した紐がホイールに絡まないようにしてください。 完成。【図8】

【図7】



【図8】



使用方法

使用上の注意

- ・本体の伸縮、移動作業は2名以上で行ってください。
- ・本体は必ず最後まで開き、付属のピンでジャバラを固定して利用してください。ジャバラが途中の状態では使用しないでください。
- ・本体時伸縮、手をはさまれないように注意してください。



指挟み 注意

- ・本体を収縮させる際、テントシートがキャスターに巻き込まれないよう注意して行ってください。
- ・ジャバラパイプの接続部分のナットが緩んだ場合は締めこんでください。いっぱいまで締めこむとジャバラの動きが悪くなりますので、隙間があくように調整してください。
- ・車輪の動きが悪くなりましたら、車軸の汚れをとり、潤滑剤などを利用して動きを滑らかにしてください。
- ・強風が予想される場合は本体を収納し、頑丈な固定物とロープなどで固定してください。
- ・台風などの荒天が予想される場合はテントシートを取り外し、ジャバラを収納し、頑丈な固定物とロープなどで固定してください。
- ・本体が破損が発生した場合は、速やかに使用を中止してください。

【輸入元】

有限会社TOSHO

岐阜県土岐市駄知町 1217-5

TEL.0572-55-1400